

モニタリング結果報告書

施設 金沢若草園

指定管理者 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会

施設所管課 障害サービス課

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

| 報告月 | 受理日 | 確認通知日 | 備考(確認事項等) |
|-----|-------|-------|----------------------------|
| 10月 | 11月8日 | | 月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した |
| 11月 | 12月8日 | | 月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した |
| 12月 | 1月8日 | | 月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した |
| 1月 | 2月8日 | | 月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した |
| 2月 | 3月8日 | | 月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した |
| 3月 | 4月8日 | | 月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した |

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

施設に入所する障害者を地域生活に移行するため、居住の場であるグループホーム等への移行を進めるとともに、日中活動の場としての同園通所施設の利用促進や、家族のレスパイトや、緊急時等の短期的な入所サービスを提供する短期入所事業を提案した。

- ① 施設入所者の地域生活への移行に向け、利用者及び家族の納得できるグループホーム等への移行を進める。
- ② 地域生活に移行した後は、就労機会の提供の場として、同園通所事業の利用により支援する。
- ③ 家族の意向も踏まえながら、緊急対応も含めた短期入所事業により、地域生活移行後のアフターケアを充実する。

<※補足>

当園は旧法の知的障害者授産施設から平成22年4月より自立支援法による新体系サービスへ移行し、障害者支援施設として「施設入所支援」、「短期入所」、「自立訓練(生活訓練)」、「就労移行支援」、「就労継続支援B型」のサービスを利用者へ提供している。

同園は新体系に移行したが、地域生活移行に関する提案は今後の障害者福祉のあるべき方向であり、今後も継続した取り組みを行うものである。

<実施状況>

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ① 施設入所者数 | 8名(平成22年9月末現在) |
| | 8名(平成23年3月末現在) |
| ② 短期利用者数 | 316名(平成22年度上半期延人数) |
| | 360名(平成23年度下半期延人数) |
| ③ 通所事業(就労移行支援・就労継続支援B型) | 45名(平成22年9月末現在) |
| | 46名(平成23年3月末現在) |

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

| | 収 入 額 | | | 支出額 | 収支差額 | |
|-------------|---------|-----------------------|--------------------|--------|---------|---------|
| | 指定管理料 | 利用料金 (前年同月 料金額) | その他収入 | | | |
| 年間予算額 | 202,196 | 27,565 | 118,514 | 56,117 | 202,196 | 0 |
| 上半期計 (a) | 94,422 | 14,298 | 74,953 (71,726) | 5,171 | 72,782 | 21,640 |
| 下半期計 (b) | 141,467 | 13,267 | 75,015 (72,955) | 53,185 | 144,859 | △3,392 |
| 10月 | 14,951 | 1,635 | 12,366 (12,357) | 950 | 10,455 | 4,496 |
| 11月 | 22,738 | 9,127 | 12,857 (12,153) | 754 | 10,990 | 11,748 |
| 12月 | 26,050 | 635 | 12,457 (12,159) | 12,958 | 30,813 | △4,763 |
| 1月 | 13,661 | 635 | 12,301 (12,000) | 725 | 20,630 | △6,969 |
| 2月 | 13,520 | 635 | 12,174 (11,652) | 711 | 9,552 | 3,968 |
| 3月 | 50,547 | 600 | 12,860 (12,634) | 37,087 | 62,419 | △11,872 |
| 合計 (a+b) | 235,889 | 27,565 | 149,968 | 58,706 | 217,641 | 18,248 |

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

12月は職員の期末手当による支出、1月と3月は施設整備にかかる工事費の支出により、収支差額がマイナスとなった。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

| | 内容 | 金額(千円) |
|--------|---|---|
| 収入の状況 | 利用料収入：事業運営安定化加算の増 | 予算比 31,454千円増 |
| | その他の収入；補助事業等収入増、障害者自立支援対策臨時特例交付金事業費補助金収入増 | 補助事業収入 4,783千円 障害者自立支援対策臨時特例交付金事業費補助金収入 36,000千円 |
| 支出の状況 | 固定資産(器具及び備品)；大型洗濯機他(2台)、大型テレビ購入 | 5,121千円 |
| | 施設整備工事(第一期) | 46,284千円 |
| 積立等の状況 | 取崩額；6,067千円 | (期首)17,000千円 |
| | 積立額；10,000千円 | (期末)20,933千円 |

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|----------|-------------------------|----------|---------|
| 上半期計 (a) | (日中 48 夜間 280) 328 人 | 309 人 | 6.1% |
| 下半期計 (b) | (日中 48 夜間 297) 345 人 | 325 人 | 6.2% |
| 10 月 | (日中 8 夜間 47) 55 人 | 53 人 | 3.8% |
| 11 月 | (日中 8 夜間 50) 58 人 | 54 人 | 7.4% |
| 12 月 | (日中 8 夜間 50) 58 人 | 54 人 | 7.4% |
| 1 月 | (日中 8 夜間 50) 58 人 | 53 人 | 9.4% |
| 2 月 | (日中 8 夜間 50) 58 人 | 53 人 | 9.4% |
| 3 月 | (日中 8 夜間 50) 58 人 | 58 人 | 0.0% |
| 合計 (a+b) | (日中 96 夜間 577) 673 人 | 634 人 | 6.2% |

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

(施設所管課受付分)

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|------|----|----|----|-----|-------|----|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 10 月 | | | | | 4 | 4 |
| 11 月 | 3 | | | | 1 | 4 |
| 12 月 | 2 | | | | 2 | 4 |
| 1 月 | 4 | | | | 2 | 6 |
| 2 月 | 4 | | | | 3 | 7 |
| 3 月 | | | | | | |

| 報告月 | 口頭 | 文書 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 月 | | | |
| 月 | | | |
| 月 | | | |
| 月 | | | |
| 月 | | | |
| 月 | | | |

※(利用者自治会・意見箱による受付)

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。
特になし

| 分野 | 概要 | 対応状況 |
|-------|----|------|
| 施設・設備 | | |
| 職員対応 | | |
| 事業内容 | | |
| その他 | | |

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

| 発生日 | 概要・対応状況等 |
|-----|----------|
| 月 日 | 特になし |
| 月 日 | |

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。
特になし

| 実施日 | 対応者等 | 経緯・調査内容 | 調査結果 |
|-----|------|---------|------|
| 月 日 | | | |

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

| | |
|-------|---|
| 指定管理者 | <p>平成 22 年度、新事業体系に移行を円滑に推進、施設入所支援及び多機能型日中支援事業へと効率的・効果的な事業の展開を行った。今後も多様化する利用者のニーズに対応する手厚い支援、入所利用者が地域で生活できる環境への移行等、さらなる支援の充実が必要と考える。</p> <p>施設再整備の一環として、管理棟改修工事(第一期)を、障害者自立支援対策臨時特例交付金事業費補助金の交付を受けて実施した。施設整備(第二期)については、施設整備計画に沿って、今後推進する。</p> <p>また、指定管理期間の最終年度にあたり、県から当法人への移譲をスムーズに行うため、職員の処遇等の課題に取り組んだ。</p> <p>収支面においては、事業運営安定化事業により増収であるが、当該事業は 23 年度で廃止となり、将来に向けてより安定した施設運営の重要性を再認識している。</p> <p>5年間の指定管理業務全般において、概ね計画通り実施できたものとする。</p> |
| 施設所管課 | <p>本年度は、指定管理期間の最終年となり、5年間において概ね計画どおりに運営できたと評価できる。施設入所者の地域移行については、多くの課題を抱えているが、積極的な取組みの姿勢が期待される。</p> <p>平成 23 年度、当園を県から済生会へ移譲し、より一層の利用者サービスの向上が求められるとともに施設経営の安定のため、職員配置や事業の見直し等に努めることが望まれる。</p> |